

## 学校自己評価システムの取組の工夫等について

## 県立特別支援学校

行	学校名	目指す学校像	学校自己評価システムの取組の工夫等 (学校間ピアレビューでの各学校からの報告を基に作成)
か	春日部特別支援学校	児童生徒一人一人が豊かに成長し・発達し、保護者・地域の信頼にこたえる学校	学校の現状や保護者のニーズ等を踏まえて、学校自己評価システムを運営している。意見交換や対話を重視して共通認識していくことに重点を置いている。その上で、それぞれの分掌等において主体的・計画的に自らの教育活動を実践している。
	川口特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の主体的な学びと人との関わりを大切にする学校</li> <li>家庭や地域との連携を大切にして、一人一人の豊かな生活を支える学校</li> </ul>	学校評価懇話会では、事前に資料配布をすることで、意見交換の時間を確保している。欠席予定者が出た場合には、事前に御意見を聞き取り、会議の中で紹介することで補っている。さらに、今年度新たに年2回の保護者との意見交換会を設定し、より保護者との共通理解を深められるよう努めている。
	川島ひばりが丘特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の自立や社会参加に向け、心豊かに、たくましく生きる力を身につけることのできる学校</li> <li>保護者や地域、関係諸機関から信頼され、誇れる学校</li> </ul>	学校評価に関わる保護者アンケートや教職員アンケートの結果については、評価結果を文章と数値、パーセントで表示して分析することで、課題が明確となっている。また、保護者アンケートの結果について、2月に保護者説明会を開催している。
	越谷西特別支援学校	児童生徒一人一人を確実に伸ばすとともに、地域の中で豊かに生活し、自己実現を図れるよう支援する学校	学校評議員に授業を見ていただいてから評議員会を開催し、その後、第2回学校評価懇話会を行なうことで意見や評価が活発に出されるように工夫している。また、トピックス(行事についての報告写真)を配付し、児童生徒の様子を分かりやすくしている。
さ	狭山特別支援学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人ひとりを大切にする学校</li> <li>自分で考え、仲間とともに成長する児童生徒を育てる学校</li> <li>地域との連携を大切にし、信頼される学校</li> </ol>	学校自己評価システムシートを3月中に原案作成し、4月当初の企画委員会で検討後、職員会議に提案。前年度中にシートを仮作成することで年度当初に示すことができ、学校経営方針と同時に提示できた。早く示すことで、学部や分掌のシートへの目標の連鎖がしやすくなった。
た	特別支援学校塙保己一学園	視覚障害児者の発達と自立、社会参加を支える拠点となる学校	学校自己評価システムシートと連鎖した各学部・分掌のシート並びに自己評価シートの作成、評価を進めることで、教職員の学校運営への参画を図っている。学校評価懇話会に、本年度から全教職員が参加している。
は	東松山特別支援学校	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し、「生きる力」を育成する学校	3月中に学校経営方針を仮決定し、その学校経営方針を基に4月の職員会議で学校自己評価システムシートを提案する。また、評価反省・仮決定した学校経営方針を受け、3月の新学部会、新分掌会で次年度の活動の方向性について確認、引き継ぎを行う。

学校自己評価システムの取組の工夫等について

県立特別支援学校

行	学校名	目指す学校像	学校自己評価システムの取組の工夫等 (学校間ピアレビューでの各学校からの報告を基に作成)
は	日高特別支援学校	児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、保護者や地域から信頼される学校	保護者アンケートについて、重点目標に基づいた取組に関する質問項目を設定するとともに、保護者の本音を引き出せるように工夫して実施している。
ま	三郷特別支援学校	児童生徒・保護者及び地域社会の期待に応え、信頼される元気な学校	前年度の最終報告での「次年度への課題と改善策」及び「学校関係者評価」を踏まえ、3月に次年度の学校自己評価システムシートを作成し職員会議に原案を提示している。